



コンサルティングエンジニア連盟のみなさまへ

令和5年2月
参議院議員
足立敏之

コンサルティングエンジニア連盟の皆様には高野会長をはじめ日頃から大変お世話になっておりまして、心から感謝を申し上げます。とりわけ昨年7月の参議院議員選挙におきまして皆様から格別のご支援を賜り、2度目の当選を果たすことができました。心から感謝と御礼を申し上げます。

今年の干支は「癸卯(みずのとう)」であり、春の間近でつぼみが花開く頃合である「癸」に、「卯年」の“跳ねる”が重なる年にあたることから、これまでの努力が花開き、実り始め、大きな飛躍につながる年と考えられており、大いに期待したいと思います。

さて、新型コロナウイルスの感染拡大や世界規模でエネルギーや原材料価格の高騰の影響等により建設産業にも大きな影響が生じており、公共事業予算により積極的に経済を牽引していくことが必要な状況です。

そのような中、12月23日に総額約114兆円の令和5年度当初予算の政府原案が閣議決定され、公共事業予算については今年度から26億円増の総額6兆600億円の予算規模となっています。12月2日に成立した令和4年度第二次補正予算での防災・減災、国土強靱化5か年加速化対策など約2兆円と併せると、令和5年度も今年度と同程度の公共事業予算を確保できる見込みとなっています。これらの公共事業関連予算を通じ、本年が大きな飛躍へとつながる明るい年となるよう、令和5年度当初予算の早期成立に向け全力で頑張っておりまして、ぜひとも皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

一方、昨年も「これまでに経験したことのない大雨」が全国各地で発生しており、近年の洪水や土砂災害などの頻発化、激甚化に対する適応策として、事前防災対策の強化の必要性を痛感いたしました。総額約15兆円の「防災・減災、国土強靱化5か年加速化対策」が3年度目に入る今年度は、中長期的かつ明確な見通しの下、継続的、安定的に国土強靱化の取組みが進められるよう、夏をめどに「新たな基本計画」が策定される大変重要な年となります。

私といたしましても、引き続き、建設産業分野の代表として、建設産業の皆様がこれからも持続的に活躍できる環境の維持、すなわち、仕事の「量」と「質」の計画的な確保を目指し、『建設産業の再生なくして、日本の再生なし』を掲げるとともに、日本の貧弱で脆弱なインフラの建て直しを図るため、『インフラの再生なくして、日本の再生なし』をもう一つの柱として掲げ、これまでの経験を活かし、必要な建設投資の確保に全力で取り組んでまいりますので、ご支援をよろしくお願いいたします。

結びに、コンサルティングエンジニアリング連盟の益々のご発展と、会員の皆様のご活躍をごき祈念申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願いいたします。